



子ども議員から出された14の質問は、産業や農業の振興・地域づくり・防災・交通安全・高齢者の就労や防犯対策など、さまざまな分野にわたるものでした。通学路など普段の生活に基づいた身近な問題から、地域交流を目的とした商店街創設案という将来構想まで、中学生らしい発想豊かな内容でした。

子どもでも参加できる活動はありませんか？という積極的な姿勢が見られる質問もありました。ごみ問題やみどりの景観保全に関するものです。現在、学校教育の場でも盛んに取り扱われる環境問題には中学生も関心が高く、自分たちが積極的に参加しようという意欲が見られました。

わたしたち中学生にできることは？

子ども議会

中学生、市政を考える



本物の議場で議会を体験

2月6日(土)、合志中学校・西合志中学校・西合志南中学校の市内3中学校の生徒が子ども議員となつて、市議会議場で模擬議会を行いました。

この子ども議会は毎年実施しており、市政や議会に対する生徒の関心を高め、ひいては政治や社会に対する参加意識の向上を図るものです。

各学校から5人ずつ選出された生徒たちのうち、1人が議長となり、残りの14人が実際に一般質問を体験しました。子ども議員からの質問に、市長や部長たちが一つひとつ答弁しました。

一般質問の前に所信表明を行なった大住市長は演説の中で、「本物の議場で、立派な意見・元気な意見を述べてほしい。」と子ども議員たちに激励の言葉を送りました。緊張しながらも、ハキハキと大きな声で質問した子ども議員たち。現代の中学生は市政をどのように感じ、どんなことを考えているのでしょうか。

14人の子ども議員たち。ほかの生徒たちも、傍聴席で見学しました。

子ども議員に感想を聞きました



合志中学校2年
うちむら たかし
内村 隆くん

緊張したけど、議長を務めるというのは一生に一度のことなので、貴重な体験だったと思います。本物の議長席に座って、責任がある場所だと感じました。

これまで市政については深く考えたことはなかったし、学校の授業でもあまり扱わないので、いい勉強になりました。



西合志中学校2年
うちむら たつ ま
内村 龍栄くん

地震などの災害対策について、自分で考えて質問しました。普段から、災害が起こったときに人のために何ができるのか考えていました。合志市でも洪水や地震が起きたときが心配です。

議場はニュースで見ると同じ、緊張感のある重い空気を感じられていい経験でした。



西合志南中学校2年
ひらやま やす は
平山 靖葉さん

あまり緊張せずメモをとったりできて、答弁も分かりやすかったです。普段知らない公共施設について知ることができました。通りづらい道路など、使いやすいようにできたらいいと思います。

困っている人を助けられる、市民がふれ合う明るい市になればいいです。

